

「ニュースアトムで事前にいただいた質疑」「当日アンケートでいただいた質疑」の概要

【ご質問】

福島第一原子力発電所の事故が収束してから柏崎刈羽原子力発電所の説明会を行うべき。

【回答】

福島県の皆さまや新潟県の地元地域の皆さまに大変なご迷惑とご心配をおかけしており、誠に申し訳ございません。

当社といたしましては、福島第一原子力発電所の安定状態の維持に取り組むことにより、避難されている方々へのご帰宅の実現および皆さまが安心して生活いただけるよう、引き続き全力で取り組んでまいります。

柏崎刈羽原子力発電所においては、福島第一原子力発電所の事故の教訓を踏まえ、徹底した地震・津波対策工事をはじめ、更なる安全性・信頼性の向上に努めてまいります。こうした発電所の取り組み状況については、説明会をはじめ、地域の皆さまへ様々な機会を捉えて、しっかりと丁寧にご説明してまいりたいと考えております。

【ご質問】

安全と利益のどちらを優先するのでしょうか？

【回答】

当社としては、事故の教訓を踏まえ、安全を最優先に取り組んでいくことが何より重要と考えております。柏崎刈羽原子力発電所においては、事故の教訓を踏まえた徹底した地震・津波対策工事をはじめ、更なる安全性・信頼性の向上に努めており、これらの取組みを引き続き国、地元自治体、地域の皆さまをはじめ広く社会の皆さまへ丁寧にご説明し、ご理解をいただけるよう努めてまいります。

【ご質問】

柏崎地域の東京電力社員の皆さんは、福島第一原子力発電所の現場へ行き、作業したほうがいいのではないのでしょうか？

【回答】

柏崎刈羽原子力発電所では、震災当時から、福島の原子力発電所への応援対応をしており、現在も定例的な人事異動の中で、福島第一原子力発電所と人材が行き来している状況です。当社といたしましては、全社をあげて福島の復興に取り組んでまいります。

また、福島県内における自治体様からのご要望にお応えするため、1月1日に福島復興本社を設立し、全社員を対象に年間延べ10万人を福島の復興活動に派遣する体制整備を進めており、各自治体様とご相談させていただきながらニーズに応じた活動を展開しております。

【ご質問】

福島第一原子力発電所の海水への汚染地下水の流出による沿岸の漁業等への風評被害について、賠償をどのように行うのでしょうか？

【回答】

今回の汚染水流出を受けての発電所沿岸地域における風評被害への賠償につきましては、試験操業的な操業を行われた場合は、現在の賠償と同様に風評被害による減収分を賠償対象とさせていただきます。また、本格的な操業を再開された場合につきましても、当社事故との相当因果関係が認められる被害につきましても、賠償の対象と認識しており、消費者の買い控え等の風評被害により減収が発生した場合は賠償対象とさせていただきます。

【ご質問】

柏崎刈羽原子力発電所1～5号機の安全対策の状況はどうでしょうか？柏崎刈羽原子力発電所の全ての号機が重大事故に至る場合も想定しているのでしょうか？

【回答】

柏崎刈羽原子力発電所では、福島第一事故の教訓を踏まえ、発電所の安全性や信頼性を高めるための対策を、全ての号機において取り組んでおります。

1～4号機側では、海拔15m高さとなる鉄筋コンクリート構造の防潮堤が平成25年6月に完成しており、5～7号機側の防潮堤についても平成24年8月に完成しております。

また、原子炉建屋の外側の壁については、海拔15m以下の全ての開口部に防潮壁、防潮板を設置しました。万が一、建物の中に海水が浸入した場合の備えとして、電源室や重要機器が入っている部屋に対して、水密扉の設置等の対策を行っています。

また、重大事故に備えた対応としては、1～4号機と5～7号機の責任者をそれぞれ指名するとともに、号機ごとの責任者も指名し、指揮命令系統や権限を明確化し緊急時の対応を行うこととしております。

今後も、複数の原子炉が同時に事故に至ったとしても十分な対応がとれるよう訓練や対策を実施してまいります。

以 上